

製品名: ホスホホスホランバン (S16) (3B11) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe05966**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000
分子量	6kDa

抗原情報

遺伝子名	PLN
別名	Cardiac phospholamban; CMD1P; CMH18; PLB; Pln;
遺伝子 ID	5350.0
SwissProt ID	P26678
免疫原	ヒトホスホランバンの組換えタンパク質

背景

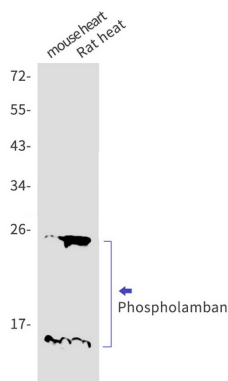
心臓筋小胞体における ATP2A2 の活性を可逆的に阻害し、ATPase の Ca(2+) に対する見かけの親和性を低下させる。ATP2A2 に対す

る作用を介して、生理的刺激に対する心筋の収縮性を調節する。心臓筋小胞体における ATP2A2 の活性を可逆的に阻害し、ATPase の Ca(2+)に対する見かけの親和性を低下させる(PubMed:28890335)。ATP2A2 に対する作用を介して、生理的刺激に対する心筋の収縮性を調節する。筋弛緩中のカルシウム再取り込みを調節し、心筋におけるカルシウム恒常性維持に重要な役割を果たしている。ATP2A2 阻害の程度は、PLN のオリゴマー状態に依存する。ATP2A2 阻害は、PLN のリン酸化によって緩和される。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



マウス心臓におけるホスホランバンのウエスタンブロット検出、ホスホランバン抗体 (1:1000 希釈) を使用したラット心臓細胞溶解物。